

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985  
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: [office@matsue-rotary.jp](mailto:office@matsue-rotary.jp)

## 第3284回例会(令和2年2月26日・水)

### 今週のプログラム

2月26日(水) 会員スピーチ  
「新卒一括採用の見直しは進むのか」  
ひろたてるよし  
㈱日本政策投資銀行 松江事務所長 廣田晃良氏

### 次週のプログラム

3月4日(水) ゲストスピーチ  
「ハーンがのこした日米のきずな」  
こいずみ ほん  
小泉八雲記念館 館長 小泉 凡氏

### 例会変更のお知らせ

| 月 日      | クラブ名   | 受付場所                   |
|----------|--------|------------------------|
| 2月27日(木) | 松江東    | ホテル一畑                  |
| 3月4日(水)  | 大社     | 出雲商工会内事務局(大社町栴葉南1344)  |
| 3月16日(月) | 米子南    | ANAクラウンプラザホテル米子        |
| 3月23日(月) | 松江南    | 松江エクセルホテル東急            |
| 3月24日(火) | 境港     | Asian Resort Dining 炯國 |
| 3月24日(火) | 松江しんじ湖 | すいてんかく                 |
| 4月7日(火)  | 松江しんじ湖 | すいてんかく                 |
| 4月27日(月) | 松江南    | 松江エクセルホテル東急            |
| 4月30日(木) | 松江東    | ホテル一畑                  |

### 2020年2月～3月の予定

- 2月29日(土) 家族交流「宍道湖の幸を食べる会」  
場所：福田正明会員自宅  
時間：午後5時30分より  
電車で来場の皆様の到着を待って開宴
- 3月4日(水) 定例理事会  
IM実行委員会  
プログラム(式典・講演)委員会  
例会終了後、藍の間
- 3月7日(土)～8日(日)  
会長エレクト研修セミナー(PETS)  
於：ANAクラウンプラザホテル岡山  
(岡山市)
- 3月11日(水) IM実行委員会 全体最終確認  
例会終了後、松の間
- 3月21日(土) 第3・第4・第5グループ合同IM  
会場：ホテル一畑
- 3月25日(水) 3月21日(土) IMに変更の為休会



本日のエレクトーン 松本悦子さん

## 第3283回例会記録

令和2年2月19日(水・曇り)

会員数 68名  
出席者数 46名  
欠席者数 22名  
出席率 73.02%(出席免除会員含む)  
前々回補正 82.81%(出席免除会員含む)

ビジター なし  
メーキャップ 永通、和田(松江南)、錦織(松江東)  
内田、杉原(理事会)

## 会務報告

櫻井会長  
ゲストスピーカー紹介  
鳥根県土木部斐伊川神門川対策課  
管理監 園山浩幸様  
そのやまひろゆき

原田幹事  
幹事報告なし

## 委員会報告

クラブ管理運営 親睦・出席委員会 井ノ口会員  
出席報告  
乾会員より信太会員からの手紙について

## スピーチ

「ダム、防災路、河川改修が一体となった  
斐伊川水系の治水対策」  
鳥根県土木部斐伊川神門川対策課  
管理監 園山浩幸氏  
そのやまひろゆき



## ニコニコ箱

17,000 円

櫻井（ゲストスピーチ 園山様、花岡様をお迎えして。）  
後藤、小林祥、小林淳、内田、原田、細田、紀野（ゲストスピーカーの園山浩幸氏のスピーチに期待して。）  
福田、山本（ゲストスピーカーの園山管理監をお迎えして。）  
信太（乾さんの「ひとこと随想」に感謝します。）  
川上（所用で早退です。）  
細田（誕生日、入会月）

ベストメッセージ賞：該当なし  
司会 紀野典彦会場監督

### 3月例会プログラム予定

- 3月4日（水） ゲストスピーチ  
「ハーンがのこした日米のきずな」  
小泉八雲記念館 館長 小泉 凡氏こいずみ ぼん
- 3月11日（水） ゲストスピーチ  
「数値シミュレーションを活用したものづくり  
～航空宇宙を中心に～」  
島根大学イノベーション創出機構次世代たたら協創センター  
教授 新城 淳史氏しんじょうじゆん じ
- 3月18日（水） ゲストスピーチ  
「立地適正化から見た松江のまちづくり」  
島根大学法文学部法経学科 准教授 飯野公央氏いいの きみ お
- 3月25日（水） 3月21日（土）  
第3・第4・第5グループ合同IMに例会変更

ひとこと  
随想

紙か  
DVDか？



なが の まさ ひさ  
長 野 真 久

明智光秀を主人公にした大河ドラマが始まりました。過去の話で申し訳ないのですが、2年前、松江歴史館の企画「本能寺の変」で、光秀直筆の手紙が展示されていました。

変の歴史的考察については専門家に任せるとして、私が驚いたのは、4百年以上も前の戦乱の時代の手紙が残っていたという事実と、その保存状態の良さでした。紙はわずかに黄色く変色していましたが、目立った損傷もなく、文字も褪せることなくくっきりと判読できました。世代を超えて手紙を残そうと大切に保管していた先人の熱意もさることながら、和紙と墨の物理的な寿命の長さには驚かされます。

和紙と墨を調べてみると、墨はすすを膠で固めたもので、2千年くらいは持つそうです。和紙も上質なものは千年以上は持つようですが、文字は残っても、紙が崩れてくることが多いそうです。一方、デジタル媒体として現在最も使用されているDVDの耐用年数はばらつきが多く、和紙に遠く及ばず3年～100年だそうです。デジタルデータ

自体は劣化しないのですが、ディスクそのものが劣化するのです。また、紙の文書と違い、DVDの中身を見るにはフォーマットの一致した再生機器と、当然のことながら電源が必要です。DVDが壊れているかどうか、再生してみないと分かりません。また、DVDに変わる新たな記憶媒体やフォーマットが開発された場合、新たな媒体に全て書き移すことが必要になります。

このように考えると、デジタル情報を数百年間維持することは、とても大変なことのよう思われます。現代の手紙や書籍が4百年後にどこかで読まれることはあっても、現代のDVDが4百年後にきちんと再生されることはまずあり得ないことでしょう。

アナログにはアナログの、デジタルにはデジタルの良さがあります。両者の長所を活かして、過去の遺産と現在の文明を未来に引き継いで行きたいものです。幸い松江クラブには、印刷業の方もIT産業の方もおられて、とてもバランスがとれていると思います。  
(整形外科医)